

授業科目名	開講 年次	開講 学期	講義 種類	単位数	担当教員名
造形表現	2	前期	講義	1	丸田 多賀美

○授業の到達目標

到達目標

1. 乳幼児期の表現の特性を理解するとともにモダンテクニックの技法など、幼児でも楽しめる表現技法について理解する。
2. 幼児期における造形表現の重要性を理解し、造形教育活動に必要な技法を身につける。
3. 様々な表現技法を応用し、実際に自分でも楽しんで作品を制作することができる。
4. 造形の授業を通して子どもたちの造形活動を改善する視点を身に付ける。
5. 造形活動の動向を知り、保育構想の向上に活用することができる。

○授業の概要

幼児の造形表現の理解に必要な基本的な知識を習得させるとともに、幼児の造形表現の指導に必要な基礎実技について演習させる。

○授業計画

第1回 「造形表現演習の計画」 造形表現演習の目標と内容について理解する。

【事前学修】 シラバスを確認して授業の概要等を確認する。

【事後学修】 授業で取り扱った内容を見直しノートにまとめる。次回に必要な材料資料を集める。

第2回 「モダンテクニック」① マーブルング・フロッタージュ・コラーージュの技法について理解する。

【事前学修】 教科書に目を通して本時の調べ学習をする。

【事後学修】 授業で取り扱った内容を見直しノートにまとめる。次回に必要な材料資料を集める。

第3回 「モダンテクニック」② スパッターリング・ドリッピング・吹流しの技法について理解する。

【事前学修】 教科書に目を通して本時の調べ学習をする。

【事後学修】 授業で取り扱った内容を見直しノートにまとめる。次回に必要な材料資料を集める。

第4回 「モダンテクニック」③スタンプング・デカルコマニー・バチックの技法について理解する。

【事前学修】 教科書に目を通して本時の調べ学習をする。

【事後学修】 授業で取り扱った内容を見直しノートにまとめる。次回に必要な材料資料を集める。

第5回 「家族の肖像画」①これまで学んだモダンテクニックの技法を活かした「家族の服」「背景」などのデザインを工夫する。下描きを完成させる。

【事前学修】 教科書に目を通して本時の調べ学習をする。必要な材料、資料を用意する。

【事後学修】 授業で取り扱った内容を見直しノートにまとめる。次回に必要な材料資料を集める。

第6回 「家族の肖像画」②これまで学んだモダンテクニックの技法を活かした「家族の服」「背景」のデザインを工夫する。素材を増やす。

【事前学修】教科書に目を通して本時の調べ学習をする。必要な材料、資料を用意する。

【事後学修】授業で取り扱った内容を見直しノートにまとめる。次回に必要な材料資料を集める。

第7回 「家族の肖像画」③ デザインをもとに「家族の肖像」をテーマに制作する。

【事前学修】教科書に目を通して本時の調べ学習をする。必要な材料、資料を用意する。

【事後学修】授業で取り扱った内容を見直しノートにまとめる。次回に必要な材料資料を集める。

第8回 「家族の肖像画」④ 作品を仕上げ、相互に鑑賞する。

【事前学修】教科書に目を通して本時の調べ学習をする。必要な材料、資料を用意する。

【事後学修】授業で取り扱った内容を見直しノートにまとめる。次回に必要な材料資料を集める。

第9回 「粘土のケーキ」① 参考作品を見ながら、魅力的な造形のケーキまたは食べ物を粘土で再現するためのデザインを考案する。

【事前学修】必要な材料、資料を用意する。

【事後学修】授業で取り扱った内容を見直しノートにまとめる。次回に必要な材料資料を集める。

第10回 「粘土のケーキ」② 各自で集めたデコレーションパーツやホイップ粘土の特性を活かして、それぞれが考案したケーキのオブジェを粘土で創作する。

【事前学修】必要な材料、資料を用意する。

【事後学修】授業で取り扱った内容を見直しノートにまとめる。次回に必要な材料資料を集める。

第11回 「粘土のケーキ」③ 作品を仕上げ、相互に鑑賞する。

【事前学修】必要な材料、資料を用意する。

【事後学修】授業で取り扱った内容を見直しノートにまとめる。次回に必要な材料資料を集める。

第12回 「砂絵」① 砂絵の特性を理解し、参考作品を見ながらオリジナルの下絵をデザインする。

【事前学修】必要な材料、資料を用意する。

【事後学修】授業で取り扱った内容を見直しノートにまとめる。次回に必要な材料資料を集める。

第13回 「砂絵」② デザインをもとに砂絵を制作する。

【事前学修】必要な材料、資料を用意する。

【事後学修】授業で取り扱った内容を見直しノートにまとめる。次回に必要な材料資料を集める。

第14回 「砂絵」③ 作品を仕上げ、相互に鑑賞させる。

【事前学修】必要な材料、資料を用意する。

【事後学修】授業で取り扱った内容を見直しノート等にまとめる。

第15回 「幼児造形指導の構え」 これまでの造形活動を踏まえ、幼児の造形表現の基本原理についてプリントを中心にまとめる。また、指導者の条件についてまとめる。

【事前学修】教科書に目を通して本時の調べ学習をする。

【事後学修】授業で取り扱った内容を見直しノート等にまとめる。試験範囲を復習する。

○教員の実務経験と授業の関連

造形教育特別講師として複数の保育現場で造形教室を開いた経験を活かし、子どもたちが安全で楽しく自主的に造形表現に取り組める環境づくりや技法について教授する。

○テキスト

幼児造形の基礎「乳幼児の造形表現と造形教材」 樋口一成編著. 萌文書林

○学生に対する評価

提出物 50% 試験 40% 授業態度 10%